

平成30年第1回高梁市議会（臨時） 過年度災害復旧工事等の未払金について審議しました

過年度災害復旧工事等に係る未払金（以下「未払金」という。）に関連する議案を審議するため、2月7日に臨時市議会が開かれました。

「過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会調査報告書」

まず、未払金調査特別委員会から調査報告書が提出されました。

委員会では、205件全てについて担当課に詳細説明を行わせ、在籍する管理職や幹部職員の聞き取り調査も行った結果、事務処理上の不備の指摘はあったが、工事関係資料や計数が逸脱する事案はなかったとのことでした。しかし、不適切な事務処理、慢性的な予算不足や人員不足、支払いの遅延、請求の猶予などが明らかに、その状態を管理職が把握できていない問

題もありました。

調査報告書では、再発防止のため、職場内での情報の共有化、管理職の人材育成、選考システムの改善、人事管理の徹底、災害復旧工事等の業務フローの改善などを行うよう指摘されていました。

討論では、調査報告書では工事代金の支払い遅延や他の工事と合算するなどの慣習があったのではないかとということに言及されておらず、調査報告書は承認できない、という意見がありました。

採決の結果、「過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会調査報告書」は賛成多数で可決されました。

「高梁市長及び副市長の給料その他給与条例の一部を改正する条例」

職員の管理監督者として市長は給料の10分の1を2カ

月、事務事業の責任者で当時の上司でもある副市長は10分の1を4カ月減額するものです。

「平成29年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」

未払金を業者へ支払うための予算措置と給与減額分を予算から減額するものです。

「平成29年度高梁市水道事業特別会計補正予算（第2号）」

水道事業の未払金を支払うものです。

討論では市長、副市長の給与の減額は責任の重さがはつきりしない、という反対討論がありました。

これに対し、議案には賛成するが、未払い案件は多くの市民に不信感を与えているので、執行部は信頼回復に努めなければならぬ。再発防止のため、わかりやすい形の改善策を議会や市民へ再提示す

べきである、との賛成討論がありました。

採決の結果、「高梁市長及び副市長の給料その他給与条例の一部を改正する条例」と「平成29年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」は賛成多数で可決しました。

「平成29年度高梁市水道事業特別会計補正予算（第2号）」は全会一致で可決しました。

なお、議案の提案説明の際、市長から「未払金について市民皆様や議員に対して謝罪するとともに、担当職員5名を減給や戒告、直属の上司、所属長9名を減給、戒告、厳重注意の処分を行った。再発防止に向け、全職員対象のコンプライアンス研修や技術職員研修、事務改善フローの策定やチェック機能の強化に取り組む」と発言がありました。

2月臨時会で賛否が分かれた議案の議決結果

件名	○賛成 ●反対													
	大月	宮田公	川上博	川上修	倉野	小林	宮田好	内田	石田	黒川	石井	三村	石部	森上
過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会調査報告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市長及び副市長の給料その他給与条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度高梁市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○他の議案は全会一致で可決しました。 ○議長は裁決に加わりません。

管内 視察

産業経済委員会

平成30年2月15日
川上畑地かんがい施設視察

高梁市に5カ所ある畑地かんがい施設のうち、川上畑地かんがい施設の大竹ダムと高山浄水場などを訪れ、現状や課題について説明を受けました。農業従事者の高齢化や減少により、畑地かんがい事業の受給者は年々減っており、存続の方法についてしっかりと議論が今後必要になっています。



管内 視察

総務文教委員会

平成30年2月19日
学校給食センター視察

高梁学校給食センターと、高梁東中学校、高梁北中学校、有漢中学校を訪れました。給食センターでは、設備を見学し、地産地消や、アレルギー対策などの話を聞きました。また各中学校の校内視察とともに、設備や授業、通学や部活などで苦労をしている話を聞きました。



管内 視察

市民生活委員会

平成30年2月26日
高梁市養護老人ホーム
成羽認定こども園建設現場視察

現在成羽高校跡地に建設中の、高梁市養護老人ホームと成羽認定こども園の建設現場を視察しました。その後、鶴鳴保育園や成羽学童保育、成羽小学校を訪問して、園長や担当者との意見交換を行いました。

